

## Crohn 病手術例の再発危険因子の検討 多施設共同研究による prospective study

研究分担者 杉田 昭 横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター センター長

研究要旨：Crohn 病は経過中に外科治療を必要とする症例が多く、再発危険因子は諸家の報告で一致しおらず、術後再発予防は本症に対する治療目的である QOL の改善に必須の課題である。術後再発予防治療を行うには本邦での再発危険因子とそれにもとづく治療対象患者を正確に抽出することが必要であり、対象症例を明確にすることによって患者の QOL 改善と医療費や副作用を考慮した適正な再発予防治療を行うことが可能となると考えられる。本プロジェクト研究は多施設共同による prospective study により正確な術後再発危険因子を明らかにすることを目的とした。本プロジェクトでは初回腸切除、または狭窄形成術を施行した Crohn 病症例の再手術を含む再発率と再発危険因子を検討するために 2 年間の登録期間で 370 例を集積し、5 年間の経過観察を多施設共同による prospective study を行う。症例の集積を開始して 1 年経過した現在、各施設で計 102 例が登録されており、症例の集積を継続する。

### 共同研究者

池内浩基（兵庫医科大学炎症性腸疾患講座外科部門）  
二見喜太郎（福岡大学筑紫病院外科）  
舟山裕士（仙台赤十字病院外科）  
根津理一郎（西宮市立中央病院外科）  
藤井久男（吉田病院）  
渡辺和宏（東北大学胃腸外科）  
高橋賢一（東北労災病院大腸肛門病センター）  
畑啓介（東京大学腫瘍外科）  
福島浩平（東北大学分子病態外科）  
小金井一隆（横浜市立市民病院炎症性腸疾患科）  
板橋道朗（東京女子医科大学第 2 外科）  
水島恒和（大阪大学消化器外科）  
亀山仁史（新潟大学消化器、一般外科）  
村上義孝（東邦大学医学部社会医学講座  
医療統計学分野）  
西脇祐司（東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野）

Crohn 病は経過中に外科治療を必要とする症例が多く、術後再発が一定の頻度であることが知られている。術後再発危険因子は罹病期間、罹患範囲、手術適応、吻合など主に欧米で挙げられているが、再発危険因子は諸家の報告で一致していない。本研究班で行われた retrospective study では初回手術の適応が perforating type が non perforating type に比べて有意に再手術率が高いことが報告されている(1)。現在は術後再発予防治療として免疫調節剤や生物学的製剤などの治療が行われているが、治療法によっては医療費の増加や重症の副作用を伴うことがある。適正な術後再発予防治療を行うためには本プロジェクト研究での多施設共同による prospective study により正確な術後再発危険因子を明らかにすることが必要である。

### B. 研究方法

Crohn 病初回腸切除術、または狭窄形成術後の再発危険因子を多施設共同で prospective study

### A. 研究目的

で明らかにすることを目的とし、protocol を作成した（平成 29 年度本研究班業績集に掲載）。

（倫理面への配慮）

参加施設の症例を匿名化して結果を集積、分析することとした。

#### C. 研究成果

##### 1. 登録症例数（表-1）

登録開始から 1 年間で倫理委員会承認施設のうち、5 施設で 102 例が登録されている。

#### D. 考察

本プロジェクトより本邦での初回腸切除、または狭窄形成術を施行した Crohn 病症例の再手術を含む再発率と再発危険因子の解析を行うことが重要である。

#### E. 結論

本邦の Crohn 病症例で術後再発治療の対象症例が明確することにより患者の QOL 改善と医療費や副作用を考慮した適正な再発予防治療を行うことが必要である。症例の集積を継続する。

#### F. 健康機関情報

特になし

#### G. 研究発表

今後予定

#### H. 知的財産権の出願、登録状況

特になし

#### I: 文献

1) 福島恒男、杉田昭、馬場傷三、ほか：Crohn 病術後因子の検討． 厚生省特定疾患難治性炎症性腸管障害調査研究班 平成 7 年度研究報告書． 58-60、199

表一1.Crohn病術後再発危険因子の検討(初回手術例、前向き検討)  
 —登録症例数(2017/12-2018/1)—

施設	登録数(n)
兵庫医科大学炎症性腸疾患講座外科	29
福岡大学筑紫病院外科	15
東北大学胃腸外科	8
東北労災病院大腸肛門病センター	2
横浜市立市民病院炎症性腸疾患科	48
<b>計</b>	<b>102例</b>